

太陽光発電による蓄電でLEDをともし、柔らかく本殿を照らす釣灯笼(14日午後6時50分、八幡市八幡・石清水八幡宮)

## 自然エネで境内ともす

### 石清水八幡宮、京大と共同事業



石清水八幡宮(八幡市八幡)は14日、太陽光パネルによる蓄電を使い、本殿などをライトアップした。京都大(京都市左京区)などとの共同事業で、「鎮守の森」を自然エネルギーで照らし、自然との共生をアピールする。

この日の点灯式で、同宮の田中朋清権宮司や研究センターの広井良典教授らがボタンを押すと、周囲の木々が柔らかい光に包まれた。参加者は厳肅な雰囲気の中で、自然と人間の共生に思いをはせた。

(大竹逸朗)